

授業者も参加者も創る!!高まる!!広げる!!

# 西部の国語の未来へバトンをつなぐ



令和元年8月発行  
西部教育事務所

6月28日(金)に宿毛小学校で国語科授業づくり講座第1回授業者研究会が行われました。  
5月に行われた教材研究会の学びから見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を再度検討し直しました。



西部管内の  
講座関係のHP

【提案内容】小学4年生「説明のまとまりをみつけよう」

【授業者】 今津 浩美 教諭 (宿毛市立宿毛小学校)

(教材名:「ヤドカリとイソギンチャク」東京書籍4年上)

授業デザイン  
改善 Point

## 児童が「やってみたい!」と思える言語活動

- 自分が選んだ科学読み物の「なるほど」「不思議だな」など自分が捉えた面白さを教材文の説明の工夫(構造)を活用してブックトークで友達に紹介する。

## 言語活動

## 着目させる言葉から捉えさせることは何か?

- 「問い」や「答え」を表す文末表現に着目して段落相互のつながりを捉え、筆者の説明の工夫を理解することができる。

## 本時の目標

## 付けたい力に合った教材を精選

- 単元を通して、付けたい力に合った教材を選んだ。着目させたい言葉である「問い」や「答え」、「接続語」が明確な教材を並行読書として設定した。

## 並行読書

授業の実際  
Part1

「問い」や「答え」を使って説明することの良さをみんなで考えました。前時の教科書教材による学習をもとに自分の言葉で表現しています。



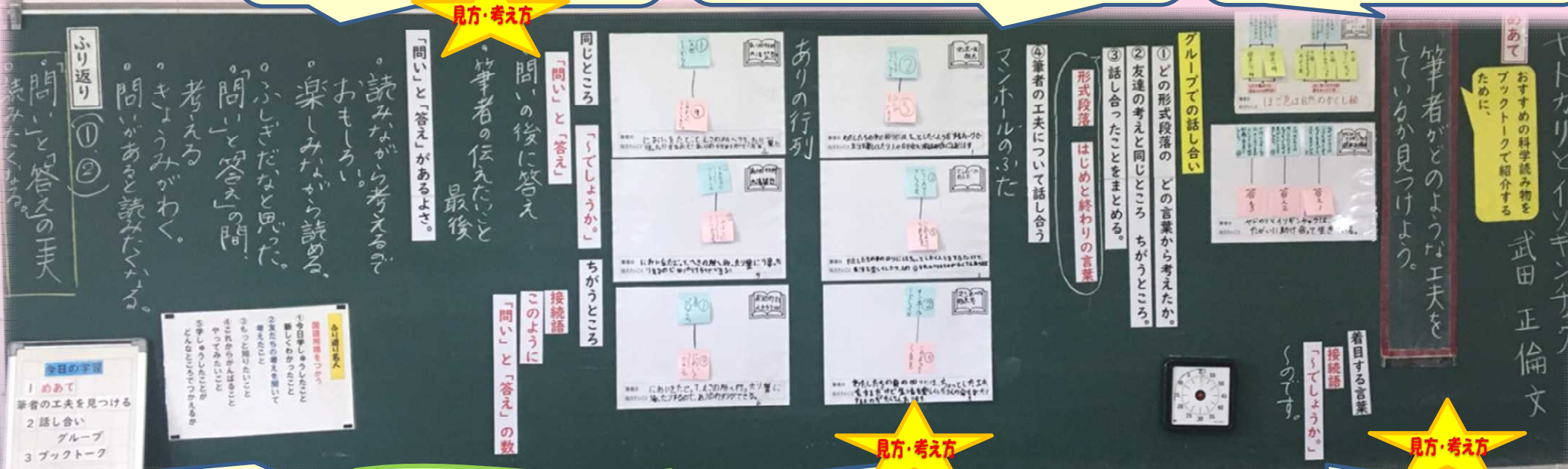
同じ科学読み物を選んだグループで、「問い」や「答え」がどの段落にどのように書かれているかを考え、文章構成図に整理していきました。



単元ゴールに向かった1時間であることを常に確認し、相手意識・目的意識を自覚させています。



見方・考え方



振り返りの視点を示すことで、児童自身に学びを自覚化させています。

~今日の振り返りの視点~  
①今日、学習したこと・新しく分かったこと  
②友達の見解を聞いて考えたこと

見方・考え方

違う科学読み物を選んだ友達に、本の紹介をします。筆者の説明の工夫を自分の紹介の仕方に活用していきました。→part2へ

見方・考え方

この時間に着目させたい言葉を児童から引き出します。

授業の実際  
Part2

「問い」や「答え」による文章のまとめりによる本の紹介を聞いて、「問い」と「答え」の間に書かれている内容説明(実験や観察)の必要性に気付いています。

「なぜ、そんなこと  
が分かるの? 間に  
あるの? 書き  
てあるの?」



「やはり、物がよくみえませんが、それなのに、なぜ、ありの行列ができるのでしょうか?」  
「においをたどって、えさの所へ行ったり、単にかえつたりしているのです。」

協議・共有



視点：児童が見方・考え方を働かせることができる授業デザインであったか

- ◎ 児童は前時の学びを生かし、主体的に文末表現に着目し、「問い」や「答え」を見付けていた。
- ◎ 「問い」や「答え」に着目し、文章構成図を整理できていた。
- ◎ 友達との対話では、根拠をもとに理由を述べ、自分の考えを確認したり、修正することができていた。
- ◎ 筆者の工夫を自分の言葉で深く考えることができていた。
- △ 段落同士の結びつきを考えて読むことはできていなかった。
- △ 『『問い』と『答え』の間があいている』という児童の意見を取り上げることができていれば、次時につなげることができていた。

その他：言語活動について

- 相手意識をもって、「問い」と「答え」を活用した本の内容の紹介ができていた児童もいたが、文章の構成の紹介をしている児童もいた。→【次時以降の言語活動の繰り返しにより、よりよい紹介を身に付けさせていく。】

小中学校課  
江口指導主事  
指導・助言

国語で正確に理解し  
適切に表現する  
**資質・能力**を育てる

単元づくりの三要素

「身に付けたい力」「最適な言語活動」「教材」  
この3つのマッチングが非常に大切である。



言語活動を通す  
目的や相手を明確にし、  
付けたい資質・能力に合  
った**言語活動**を設定する。

教材で教える  
教材の特徴をつかみ、  
付けたい資質・能力に  
合った**教材**を選ぶ。

①資質・能力

見方・考え方を働かせながら読む  
ことでいずれ説明的文章を読む  
時には「こういう風に読めばいい  
んだ。」ということに気づき、汎  
用的な力が付くようになる。

②言語活動

言語活動は課題解決型の学習の  
ための仕掛けであり、児童が主  
体的に文章を読むための仕掛け  
でもある。だからこそ、相手意識  
や目的意識を持つことが大切で  
ある。

③教材

教材は、言語活動を通して分析  
することが大切である。教師が  
児童と同じ言語活動をしてみる  
と良い。児童には、これまでに身  
に付けたい力を使った自力読みの  
時間を設定し、鍛えていく。

参加者の声

- ☆1単位時間の構成がとても分かりやすかったです。復習・モデル・グループ対話・全体共有、そしてブックトークを実際に行ってみる。理解したことを表現するといった展開を取り入れていきたいです。
- ☆子供達がとても楽しそうに活動する姿を見て、「ゴールイメージが具体的に決まっているとしっかり活動できるんだなあ!」と考えさせられました。
- ☆どんな力をどんな方法(言語活動)で何を使って(教材)学ばせるかということを常に意識しながら授業を作っていきたいと思えます。

今後の予定

- ◆ 9月26日(木) 教材研究会 2年生「かさこじぞう」
- ◆ 11月7日(木) 授業研究会 授業者 安田 琴美 教諭

「物語文」における授業づくりを  
一緒に考えていきましょう!

